

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

項目(担当)	重点目標	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
本年度の重点目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の向上を図る</li> <li>・主体的に生きる力を育む</li> </ul>		
学習指導(教務部)	主体的に学習に取り組む態度を養い、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇生徒に習得させるべき基礎的、基本的な知識・技能を明確にする。</li> <li>◇主体的に学ぶ態度を養い、思考力・判断力・表現力を育成するために、授業の内容・方法の改善を図る。</li> <li>◇各教科で家庭での予習・復習のあり方について検討する。</li> <li>◇生徒に目標を設定させ、それを実現するための具体的な学習計画を立てさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇主体的に学びながら質の向上を目指そうと、各教科で積極的に研究授業を実施したり、授業アンケートを用いて授業改善を行った。</li> <li>◇定期テスト、小テスト等を活用して生徒の基本的な知識・技能を把握し、授業に生かすことができた。</li> <li>◇年間を通じて計画的に課題を与え、家庭学習に取り組みさせることができた。さらに多くの生徒が家庭学習の重要性を自覚し、積極的に課題に取り組んで学力を向上できるよう、粘り強く指導していく必要がある。</li> </ul>
生徒指導(生徒指導部)	本校生徒の品位を保つような身だしなみの徹底と規範意識の向上を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇制服の正しい着こなしを周知し、徹底させる。</li> <li>◇わかりやすい基準で指導する体制を確立する。</li> <li>◇生徒指導部が中心となり、全職員の共通理解のもとに統一した指導を行う。</li> <li>◇繰り返し注意を受ける生徒に対する段階的指導体制を徹底する。</li> <li>◇公共物を大切にすることを養うとともに、状況に応じた適切な行動がとれるよう指導を行う。</li> <li>◇インターネットやSNSについて、適切な使い方ができるよう指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇チェックカードの活用により、制服の正しい着こなしをさせることができた。また、定期的に校門での立ち番やクラスごとの点検を実施することにより、全職員の共通理解のもとで指導を行うことができた。</li> <li>◇段階的指導体制を徹底することで、同一の生徒が度重なる指導を受けないよう、抑止することにつながった。</li> <li>◇情報モラル講座を通じて、インターネットやSNSの正しい使い方について理解を促した。講話については他校や地域の方からも情報を取り入れ、随時新しい内容のものを検討し実施していきたい。</li> </ul>
いじめ防止対策の推進(保健部)(生徒指導部)(各学年会)	いじめの未然防止のための取組を充実させる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとした講話やグループワークを行い、生徒が自他の大切さや個性を尊重することについて主体的に考えられる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇集会や講話等を通して、自他の大切さや個性を尊重することを伝え、生徒に考えさせる機会を作ることができた。</li> <li>◇養護教諭やスクールカウンセラーと協力し、生徒が主体的に考えられるように支援することができた。</li> </ul>
	いじめの早期発見と適切な対応のできる体制をつくる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇保健アンケートや個人面談、意見箱の活用などを通していじめの早期発見、迅速で適切な対応につなげる。</li> <li>◇いじめ対策委員会を中心に、いじめの情報収集や事案への対処を検討し、指導・支援体制を組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇個人面談や保健アンケートから生徒の状況を把握することができた。また、アンケート結果から友人関係で不安を感じている生徒には、個人面談を実施するとともに周囲の生徒からも情報を集め、適切に対応できた。</li> </ul>
進路指導(進路指導部)(各学年会)	キャリア教育を充実させ、生徒一人一人の進路意識を高め、粘り強く高い進路目標の実現を図る。	<p>(1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇将来の職業選択を踏まえた文理選択を適切に行うため、様々な進路情報を提供し、高い進路目標を設定させる。</li> </ul> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇総合的な学習の時間を活用し、様々な進路的行事を行い高い進路目標実現のための意識を向上させる。</li> </ul> <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇授業を通して十分な学力を養成する。また学習会や補習を効果的に実施し、実践力を強化する。</li> <li>◇面接を効果的に実施し、高い進路目標実現を強力に支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇主に総合的な学習の時間を利用し、進路講話やキャリア講演会を行った。インターンシップや大学の模擬講義等を積極的に勧め、活動後にはポートフォリオを用いた振り返りを行い、進路への意識を高めた。引き続き、将来のキャリアを意識させた上で進路実現に向けての方策を自ら考えさせる指導を行いたい。</li> <li>◇国公立大学の模擬授業などの進路ガイダンスや、保護者を招いた進路説明会を複数回実施したことにより、生徒・保護者ともに進路実現に対する意識を向上させることができた。生徒がより高い進路目標を持ち、それを実現することができるよう、今後更なる情報発信に努め、進路的行事を充実させていきたい。</li> <li>◇面談や模試を通して生徒が自らの進路に真剣に向き合う姿勢が見られた。また、学習会や補習を通して進路決定者も学力向上に励むことができた。今後も高い進路目標を実現するために、必要な能力や学力の向上を目指すとともにその環境作りを支援していきたい。</li> </ul>	
学校保健(保健部)	生活環境美化への意識を高める。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇美化委員会にて清掃点検について具体的に指導する。</li> <li>◇環境美化活動(1, 2年)を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇美化委員による清掃点検により、丁寧な清掃を心がけた。担任の働きかけで、平常清掃時に水拭きを実施しているクラスが多い。</li> <li>◇各クラスで協力して校内及び地域の美化活動を行うことができた。</li> <li>◇インフルエンザ流行時期に保健委員の放送による窓開け運動を実施し、生徒による効果的な注意喚起ができた。</li> </ul>
学校安全(生徒指導部)(総務部)	交通安全意識を高め、交通マナーやルールを遵守する態度を育てる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇通学路における交通指導を定期的に行う。</li> <li>◇登下校において、地域の方の信頼が得られるような行動を心がけさせる。</li> <li>◇通学路における危険箇所の早期発見、改善に努める。</li> <li>◇交通安全意識を高めさせるような情報を適宜提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「0の日」に交通安全指導を実施することにより、通学路における危険箇所を意識させ、注意を促すことができた。</li> <li>◇事故が発生しやすい場所の情報を取り入れ、ハザードマップを作成して情報提供することができた。</li> <li>◇交通講話を実施することで、交通事故の実態や危険について、より具体的に意識を持たせることができた。</li> </ul>
	防災に対する意識を啓発する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇防災訓練の実施方法の見直しを行う。</li> <li>◇防災意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇授業時間帯に避難訓練を実施することで、いつ起こるか分からない防災への意識が高められた。</li> </ul>

図書館活動 (研修図書部)	読書・学習・情報センターとしての活用を推進する。	◇図書及び図書館の整備を行う。 ◇読書推進の広報活動を行う。	◇バーコード貸出を開始し、貸出・返却の手続きが簡易化され、貸出数が昨年の2倍に増加した。 ◇図書選定においては、雑誌の予算を一般図書に充てることによって新刊図書の購入を大幅に増やした。今後は、古い図書を廃棄し、配架スペースを確保する必要がある。 ◇図書委員による広報活動や館内の展示の工夫、授業での図書館の活用により来館者数も増加した。
生徒会活動 (特活部)	生徒会行事、ボランティア活動、部活動のさらなる活性化を図る。	◇生徒会執行部が中心となり、行事に関する審議を1学期中に行う。また、その反省、改善を今年度中に行い、次年度につなげる。 ◇生徒議会の活性化を図る。 ◇総務部と連携し、広報誌を通して生徒の活躍の様子を保護者や地域、近隣中学に広く伝えていく。	◇生徒会が中心となって橋祭に向けた準備を行い、体育大会での縦割りや文化祭での生徒会企画など、新たな試みを実現することができた。 ◇生徒議会を通して、縦割り実施の是非を確認したうえで運営方法についての審議を行うなど、学校行事に生徒の意見を反映させることができた。 ◇学校行事を活性化することで生徒一人ひとりの活躍の場を作り、総務部と連携して保護者や地域にその様子を発信することができた。
国際交流 (総務部)	国際交流活動をより活性化させる。	◇オーストラリア研修旅行(VST)・日本研修旅行(JST)をさらに充実させる。 ◇JSTにおいて生徒会と連携する。	◇JST訪問時に体育大会が実施され、生徒会と連携しながら全校生徒に紹介をし、一緒に競技を行うなど交流を深めた。
広報活動 (総務部)	広報活動を充実させる。	◇学校案内、ホームページ、広報誌等の充実を図る。 ◇校内外へ発信する機会を多く設ける。	◇対外的な情報発信は充実させることができた。 ◇校内外を問わず、情報発信の機会を充実させる。
勤務時間の管理及び長時間労働による健康障害防止	教職員の勤務時間を適正に管理し長時間労働による健康障害防止を図る。	◇在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図る。 ◇1か月の時間外労働が80時間を超える教職員を減少させる。 ◇部活動の休養日を週に1日以上設ける。	◇1か月の時間外労働時間が80時間を超える職員には管理職が面談を行うなどして、業務の精選や効率化を図るための助言を行った。 ◇勤務時間の適正化に向けての声かけをこまめに行ってきた。1か月の時間外労働が80時間を超える教職員数は3割程度減少した。 ◇各部活動とも休養日の日数を増やすよう心がけてきた。今後は、部活動指導ラインも踏まえながら、活動の質の向上を図っていくよう取り組みたい。
総合評価		本年度の重点目標である「質の向上を図る、主体的に生きる力を育む」については、学校評価アンケート、授業アンケート等で概ね良好な評価を得ている。今後さらに各担当で指導方法を工夫し、生徒一人一人がより主体的に将来の進路実現を目指し、充実した学校生活を送ることができるよう努力していきたい。	

#### イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	◇学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るための取組について ◇進路意識を高め進路実現を図るための指導について ◇身だしなみ指導と安全教育への取組について ◇部活動や学校行事、国際交流の活性化に向けての取組について
自己評価結果について	◇縦割りの体育大会は、とても良かった、言葉では伝えきれない。ラジオ体操も素晴らしい。 ◇PTA有志でクラスマッチに参加できた。今後も参加しやすい状況を続けてほしい。 ◇進路指導では保護者説明会が早め早めに行われ、親のスイッチが早く入って良かった。 ◇子どもたちが先生とのコミュニケーションがとれているように思う。これからも身近な存在であり続けてほしい。 ◇海岸清掃やふれあい活動(ダンス部)など地域活動に参加してくれている。非認知能力(数字では表せないもの)や自分で考えて活動する力が高められており、勉強の方にも波及していくのでは。
今後の改善方法について	◇中学校説明会でも蒲郡東高校の進路指導のやり方を是非説明してほしい。 ◇学校のホームページ(総務)と同窓会のホームページとの連携、情報交換も行いたい。 ◇いじめのアンケートは、記名のもの他に無記名のものも行うと潜在的なものが見つかるのでは。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	◇高大接続、英語の外部試験などの流れに翻弄されることなく、本当に必要な力を身につけさせてほしい。 ◇自分に合う本を見つけることも良い経験。読む気になるような環境作りも大事である。予算を十分かけるべき。 ◇生徒にかかるお金は大事であるので、予算という点では同窓会の県議会議員や市議会議員にも働きかけていきたい。また同窓会の予算を有効に活用したい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	◇構成…学校評議員5名(PTA会長、役員を含む) ◇評価時期…2月中旬

#### (5) 経営管理上の問題点等

- ア 学習指導、進路指導、生徒指導の諸課題に適切に対応し、一層の充実を図る。
- イ 家庭と地域、関係中学校との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。
- ウ 学校組織の活性化を図る。
- エ 教育活動に関する情報発信に努める。
- オ 学校評議員制度、学校関係者評価を学校運営に活用する。
- カ 情報セキュリティーの一層の推進を図る。
- キ 現職教育の充実を図る。